



OSAKA-TEMMABASHI ROTARY Club Weekly Bulletin

第2660地区 大阪天満橋ロータリークラブ 創立 昭和42年(1967)11月4日

事務局 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目9番20号 大阪マルビル第一ホテル

例会 毎週木曜日 12時30分 ヒルトン大阪4F

会長 川原 和彦 幹事 永田 秀次 広報委員長 高良 尚志

電話(06)6345-1115(直通) 電話(06)6341-4411(ホテル) FAX(06)6344-8222

E-mail:temma-rc@temmabashirc.xsrv.jp http://temmabashirc.xsrv.jp



<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

SEPTEMBER 20 2012 NO. 2172

新世代のための月間

☆☆ 今日のプログラム ☆☆

- 1) 例会 (2172回)
- 2) ソング 我等の生業
- 3) 卓話 「日本の住宅のスクラップ&ビルド」
1級建築士事務所「ドクター住まい」主宰
玉水 新吾 様
大矢 平治 会員紹介

次週(9月27日)のお知らせ

- 1) 例会 (2173回)
- 2) ソング ふじの山
- 3) 卓話 青少年交換学生報告ならびに挨拶
2011-12年度派遣学生 長谷川 さあや 様
2012-13年度来日学生 アンドレ・レイト君
青少年交換委員会
- 4) 10月度定例理事会

☆☆ 9月度の在籍表彰 ☆☆

20カ年 中村 健輔 14カ年 川原 和彦
13カ年 山村 朋史 11カ年 梅本 知秀
8カ年 永田 秀次 7カ年 森本 章裕

☆☆ 6ヵ月ホームクラブ皆出席者 ☆☆

永田 秀次

(以上敬称略)

** 先週の例会報告 **

☆☆ 会長報告 ☆☆

3クラブの皆様こんにちは!

年に一度の合同例会でございますので、大いに親交を深めて頂きたいと思っております。

本日の3世代クラブ合同の社会福祉事業ならびに合同例会にあたりましては、大手前ロータリークラブの山本会長・辻村幹事・曾我部社会委員長はじめ大手前ロータリークラブの皆様に変にお世話になりありがとうございます。2005年5月ロータリー創立100周年を機に3クラブが力を合わせて社会に貢献していこうとの趣旨でスタート致し早 9回目でございます。

社会貢献と合わせ、一般の方々に我々の日々の活動の一端を知って頂く意味からも意義のある

事業であると思っております。9度にわたる様々な事業を通じ3クラブの輪が着実に広がりました。この『素晴らしい絆』を明日へ明日へと繋いで参り・・・そして来る12月7日8日の地区大会の成功に向けて3クラブの絆を大いに発揮したいものです。

☆☆ 幹事報告 ☆☆

- ①「R I 第2660地区 2012~13年度 地区大会」の出欠のご返事を事務局までお願いいたします。なお、申込書下方に分科会の出席対象者が明記されておりますので該当されます会員各位は分科会へのご参加もよろしくお願い致します。本年度は高島ガバナー年度でありますし当クラブの石田道夫会員が地区大会副実行委員長ですのでいつもにもましてのご参加をお願いいたします。

☆☆ にこにこ箱 ☆☆ 敬称を略す

三世代クラブ合同例会おめでとうございます

在本 茂

三世代クラブ合同例会開催おめでとうございます

石田 道夫

平成24年9月14日 合計金 8,000円

累計金 674,000円

☆☆ 出席報告 ☆☆ () 内は会員総数を基準とした値

国内ビジター	0名	会員総数	68名	9月14日の出席率	64.29%
国内ゲスト	0名	会員出席	36名(56名)	4週間前(8月23日)の	
外国ビジター	0名	出席規定適用免除	21名	メイクアップを含む出席率	90.00%
外国ゲスト	0名	会員欠席	20名	メイクアップ実施会員	1名(欠席者7名)

☆☆ 三世代クラブ合同例会 ☆☆

9月14日午後0時30分より、帝国ホテル孔雀東の間において第9回の三世代クラブ合同例会が開催されました。

先ずホストである大阪大手前ロータリークラブの山本博史会長の挨拶が行われ、次いで、当クラブの川原和彦会長及び大阪中之島ロータリークラブの針谷紘一会長の挨拶が順次行われました。



大阪中之島RC 針谷 紘一会長



大阪大手前RC 山本 博史会長



大阪天満橋RC 川原 和彦会長

食事の後、大阪大手前ロータリークラブの曾我部律夫社会奉仕委員長、当クラブの郡悦清社会奉仕委員長及び大阪中之島ロータリークラブの安達昌弘社会奉仕委員長より、本年度の三世代クラブ合同社会奉仕事業である大阪市立視覚特別支援学校への拡大読書器贈呈事業の報告(後記)が行われました。

続いて、三世代クラブの山本会長、川原会長及び針谷会長より、大阪市立視覚特別支援学校の小山直幸校長に対し、拡大読書器2台の目録が贈呈されました。

また、同校長から三世代クラブそれぞれに対して、大阪市長の感謝状が授与されました。

最後に、大阪市立視覚特別支援学校の小山直幸校長より、謝辞を頂きました。

なお、開会に先立ち、会場である帝国ホテル孔雀東の間において、出席三世代クラブ会員の記念集合写真の撮影が行われました。



三世代クラブ合同例会

帝国ホテル3階「孔雀東の間」 平成24年9月14日

☆☆三世代クラブ合同社会奉仕事業報告☆☆

大阪大手前ロータリークラブ
社会奉仕委員長 曾我部律夫

標記事業は、本年は大手前ロータリークラブ社会奉仕委員会が担当致しました。昨年度は3.11東日本大震災の直後であり、仙台市の聴覚障害施設に対する事業が行なわれました。

本年は地元で視覚障害の方々へと考え、大阪市立視覚特別支援学校(旧盲学校)をその事業先と致しました。3月2日、同校を訪問して校長先生にお会いし、校内の見学と現在の状況のお話を伺いました。同校として視覚障害者(幼・小・中・高校及び成人)の教育・訓練のため現在最もその必要性を痛感されており、その充実・整備が最も望まれているのは視覚障害者の方々を使用する拡大読書器であることを識り、それを贈呈することが適当と考え、3クラブで協議していただくこととしました。

元来、視覚障害者が読書等をする場合は点字によることが一般的であり、現在も主流を占めていますが、書物・書類を点字に打ち直す作業、点字にするとそのボリュームが膨大なものになり、読むにしても保管するにしても、その不便さは大きくなります。

その点、拡大読書器はその人の残っている視力に応じて書物の字を自由に拡大出来、読み易いように白・黒の反転、地の色を読み易い各種の色に変更することなどが自由に簡単に出来ること、又更に大きな特徴はパソコンに接続可能と言う点であり、これにより多種類の教育訓練用ソフトの使用が可能になったことです。

7月6日に三世代クラブ例会の打合せ会に提案し、7月の理事会で各クラブの了承が得られて拡大読書器2台を発注し、8月21日同校に納入されました。8月31日の打合せ会を経て9月6日に3クラブの会長・幹事・社会奉仕委員長が同校を訪問して拡大読書器2台も贈呈式を行い、上記の同機器の使用方法、性能を確認し、同器が同校で教育・訓練に活躍するであろうことを確信しました。

本日9月14日三世代クラブ合同例会が帝国ホテル大阪で行なわれ、大阪大手前ロータリークラブ社会奉仕委員長から今回の合同社会奉仕事業の経過が報告されました。次いで本日出席下さいました大阪市立視覚特別支援学校の小山直幸校長に改めて3クラブ会長から目録が贈呈され、それに対し、同校長から大阪市長からの感謝状が3クラブに贈られました。

最後に小山校長先生から謝辞が述べられ、以上をもちまして本事業が終了しました。



大阪大手前RC 曾我部 律夫社会奉仕委員長



大阪天満橋RC 郡 悦清社会奉仕委員長



大阪中之島RC 安達 昌弘社会奉仕委員長



拡大読書器目録及び感謝状



大阪市立視覚特別支援学校小山 直幸校長

決議 23-34 社会奉仕活動に対する方針（抜粋）

1) ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕—「超我の奉仕」の哲学である。

2) 本来ロータリー・クラブは、事業および専門職務に携わる人の代表として、ロータリーの奉仕の哲学を受入れ、次の四つのことを実行することを目指している人々の集まりである：

まず第1に、奉仕の理論が職業および人生における成功と幸福の真の基礎であることを団体で学ぶこと；

第2に、自分たちのあいだにおいても、また地域社会に対しても、その実際例を団体で示すこと；

第3に、各人が個人としてこの理論をそれぞれの職業および日常生活において実践に移すこと；そして

第4に、個人として、また団体としても大いにこの教えを説き、その実例を示すことによって、ロータリアンだけでなく、ロータリアン以外の人々のすべてが、理論的にも実践的にも、これを受入れるように励ますことである。

3) 国際ロータリー R I は次の目的のために存在する団体である：

a) ロータリーの奉仕の理想の擁護、育成および全世界への普及；

b) ロータリー・クラブの設立、激励、援助および運営の管理；および

c) 一種の情報交換所として、各クラブの問題を研究し、また、強制でなく有益な助言を与えることによって各クラブの運営方法の標準化を図り、社会奉仕活動についても、既に広く多くのクラブによってその価値が実証されており、RI定款に掲げられているロータリーの綱領の趣旨にかなない、これを乱すような恐れのない社会奉仕活動によってのみ、その標準化を図ること。

4) 奉仕するものは行動しなければならない。従って、ロータリーとは単なる心構えのことをいうのではなく、また、ロータリーの哲学も単に主観的なものであってはならず、それを客観的な行動に表さなければならない。そして、ロータリアン個人もロータリー・クラブも、奉仕の理論を実践に移さなければならない。

そこで、ロータリー・クラブの団体的行動は次のような条件の下に行うように勧められている。いずれのロータリー・クラブも、毎年度、何か一つの主だった社会奉仕活動を、それもなるべく毎年度異なっていて、できればその会計年度内に完了できるようなものを、後援するようにすることが望ましい。この奉仕活動は、地域社会が本当に必要としているものに基づいたものであり、かつ、クラブ会員の一致した協力を必要とするものでなければならない。これは、クラブ会員の地域社会における個々の奉仕を奨励するためにクラブが継続的に実施しているプログラムとは別に行われるべきものとする。

大阪天満橋 RAC 10 月第 1 例会のお知らせ

日時：10月3日（水）19:30~20:50

内容：「RC中野様による卓話」（専門知識開発委員会）

場所：錦城閣 登録料：3,000円

登録先：幹事 谷 綾花 termabashi@2660rac.org

TEL：09051247458 登録締切：9月28日（金）

☆☆ 本日のランチメニュー ☆☆

・冷 麺 ・コーヒ－

我等の生業なりわい

作詞 高野辰之
作曲 岡野貞一

一、我等の生業なりわいさまさまなれど

集つどいて図はらる心は一つ

求もとむるところは平和親睦やわらぎむつび

力ちからむるところは向上奉仕

おゝロータリアン

我等の集つどい

二、奉仕に集つどえる我等は望のぞむ

正ただしき道このみちに果はたをとるを

人の世このよ挙ありて光あを浴あみつ

力ちからを協あせて争あらそいむを

おゝロータリアン

我等の集つどい